

旧油川配水所解体について

旧油川配水所解体のスケジュール等について



令和7年7月1日

柿崎 孝治

Water Service News 2020.8

令和2年8月号

あおもり水道だより

油川配水所(令和2年6月30日廃止)

昭和41年に供用開始され、主に市内北部地区に水道水を配水していた油川配水所は、施設の老朽化や電気設備などの更新に多額の費用を要することから今後の水需要を踏まえ、令和元年12月に配水を停止し、令和2年6月30日に廃止となりました。

なお、市内北部地区への配水は、現在、天田内配水所が受け持っており、水量・水圧とも良好であることが確認できています。



油川配水所

◆ 油川配水所が53年の歴史に幕を閉じました ◆

昭和41年に供用開始され、主に市内北部地区に水道水を配水していた油川配水所は、施設の老朽化や電気設備などの更新に多額の費用を要することから、今後の水需要を踏まえ、令和元年12月に配水を停止しました。

なお、市内北部地区への配水は、現在、天田内配水所が受け持っており、水量・水圧ともに良好であることが確認できています。

※令和元年12月以前の配水エリア



令和元年12月以降油川系（黄色）エリアには天田内配水所より配水しています

～今後とも安定した給水を確保します～



昭和50年代初期の油川配水所
（当時は、管理棟玄関前に噴水がありました。）

～油川配水所の解体工事について～

令和3年度から解体工事に着手する予定です。

解体工事中は、騒音など、市民の皆さまにご迷惑をおかけしますが、何卒、ご理解とご協力をお願いします。

油川配水所 記憶に刻む

解体準備前に見学

青森市油川地区の住民らでつくる油川コミュニティ協議会（葛西清悦代表）は8日、一昨年12月で閉鎖した油川配水所（同市油川船岡）の解体工事の準備が始まるのを前に、施設の見学会を開き、地域住民約15人が歴史ある建造物を記憶に焼き付けた。

同配水所は油川小学校の南側に隣接しており、1966年に供用を開始した。主に市内北部に水道水を配水してきたが、老朽化のため2019年12月、53年間の歴史に幕を閉じた。配水所が7月にも解体工事の準備に入ることから、同協議会は初めて見学会を企画した。

市水道部の担当者は用意した資料を基に、戦前から戦後にかけての油川地区の水道行政の移り変わりを解説。参加者は施設の内部に立ち入ることできなかった。

青森

油川配水所 記憶に刻む 解体準備前に見学



油川配水所の正面入り口前で担当者の説明を聞く地域住民ら

だったが、外観をぐるりと見学しながら説明を聞いた。油川小学校に通っていた参加者は当時の思い出と照らし合わせながら、近く解体される建物を心に刻んだ。近くに住む市川邦夫さん（60）は「配水所の正面にあった大きな噴水で泳ぎの練習をし、裏の丘でスキーを覚えた。配水所が取り壊されることは少し寂しい」などと話した。

市水道部によると、油川配水所が停止して以降、市内北部への配水は天田内配水所が担っている。油川配水所の跡地の利用方法はまだ決まっていないという。

（山口拓郎）

2021年6月8日 希望者を募り 油川配水所解体準備前に見学を実施



2021年6月15日(火) 東奥日報朝刊掲載記事

旧油川配水所の解体スケジュール等について

1 解体工事について (当初予定)

油川配水所は、老朽化の進行と人口減少に伴う水需要の低迷から、令和2年6月30日をもって廃止し、令和3年度から解体工事に着手しました。
解体工事の当初の予定は、下記のとおりでありました。

- ・令和3年度 管理棟などのアスベスト除去工事、2号取水井埋め戻し工事
- ・令和4年度 鉄筋コンクリート造の配水池2池の解体工事
- ・令和5年度 同上配水池基礎杭撤去工事
- ・令和6～8年度 着水棟、管理棟、外構等の解体工事
- ・令和9年度以降 各取水井の埋め戻し（解体）工事

(現在の状況と今後の予定)

令和4年度までは予定どおりに実施しましたが、当時、油川配水所の水源として運用していた5か所の取水井において、当該配水所廃止後から地下水が自噴するようになり、その自噴水が越水した場合、隣接する水田への影響が懸念されたことから、まずは既存の用水路への流出を防止するため、各取水井の埋め戻し工事を優先して実施し、その後に旧油川配水所の管理棟などの本体の解体工事に取り掛かることとしました。

- ・令和3年度 管理棟などのアスベスト除去工事、2号取水井埋め戻し工事【実施済】

跡地利用について、桜の木について、ブロック塀について

2 跡地利用について

現段階で解体後の跡地の取扱いについては未定であります。解体まで一定の年数を要することもあり、今後の具体的な検討を進めていく中で、地域住民の皆様へ説明等を行っていくこととしています。

3 桜の木について

樹木医の診断によると、すべての桜に樹勢の衰退が見られ、移植にも耐えられず枯死してしまう状態であるとのことであったため、旧油川配水所の解体工事に合わせて、伐採する予定としています。※特に倒木の危険性が高いものについては随時伐採する予定です。

4 ブロック塀について

昨冬の豪雪により、旧油川配水所を囲んでいるブロック塀に部分的な破損等の不具合が確認されたため応急処置を実施します。

5 フェンス際の草刈について

5月28日～29日に対応済です。

当初令和2年度の予定

(当初予定)

油川配水所は、老朽化の進行と人口減少に伴う水需要の低迷から、令和2年6月30日をもって廃止し、令和3年度から解体工事に着手しました。
解体工事の当初の予定は、下記のとおりでありました。

- ・令和3年度 管理棟などのアスベスト除去工事、2号取水井埋め戻し工事
- ・令和4年度 鉄筋コンクリート造の配水池2池の解体工事
- ・令和5年度 同上配水池基礎杭撤去工事
- ・令和6～8年度 着水棟、管理棟、外構等の解体工事
- ・令和9年度以降 各取水井の埋め戻し（解体）工事

令和7年度6月までの状況と今後予定

(現在の状況と今後の予定)

令和4年度までは予定どおりに実施しましたが、当時、油川配水所の水源として運用していた5か所の取水井において、当該配水所廃止後から地下水が自噴するようになり、その自噴水が越水した場合、隣接する水田への影響が懸念されたことから、まずは既存の用水路への流出を防止するため、各取水井の埋め戻し工事を優先して実施し、その後に旧油川配水所の管理棟などの本体の解体工事に取り掛かることとしました。

- ・令和3年度 管理棟などのアスベスト除去工事、2号取水井埋め戻し工事【実施済】
- ・令和4年度 鉄筋コンクリート造の配水池2池の解体工事【実施済】
- ・令和5年度 7号取水井埋め戻し工事【実施済】
- ・令和6年度 6号取水井埋め戻し工事【実施済】
- ・令和7～9年度 5、9、4号取水井埋め戻し工事
- ・令和10年度以降 配水池基礎杭撤去工事、着水棟、管理棟、外構等の解体工事

油川配水所・取水井戸 位置図

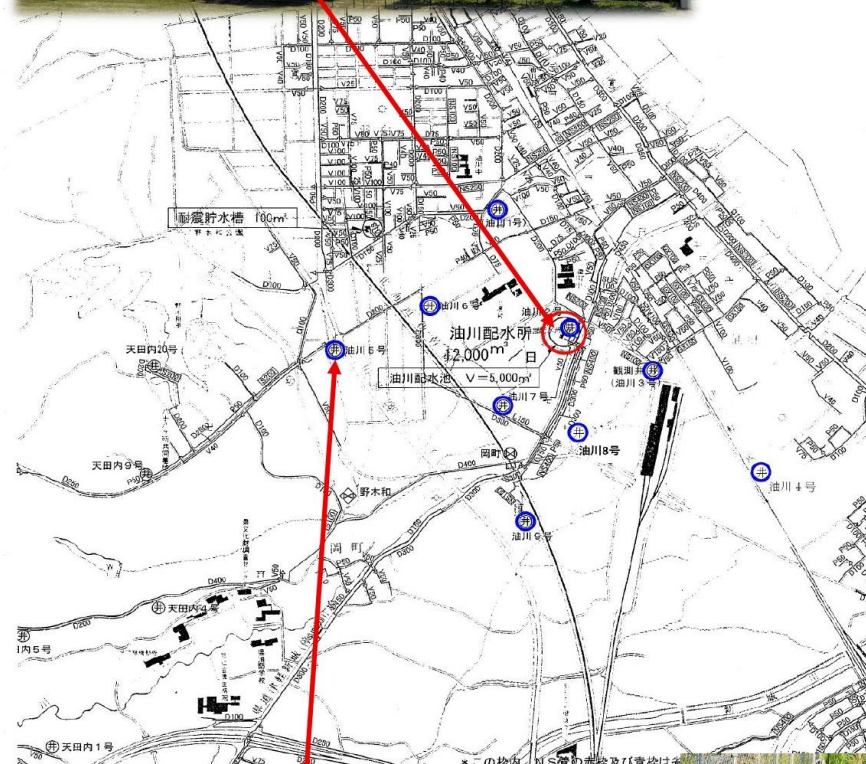
令和7年度6月での状況と今後予定



油川配水所・取水井戸 位置図



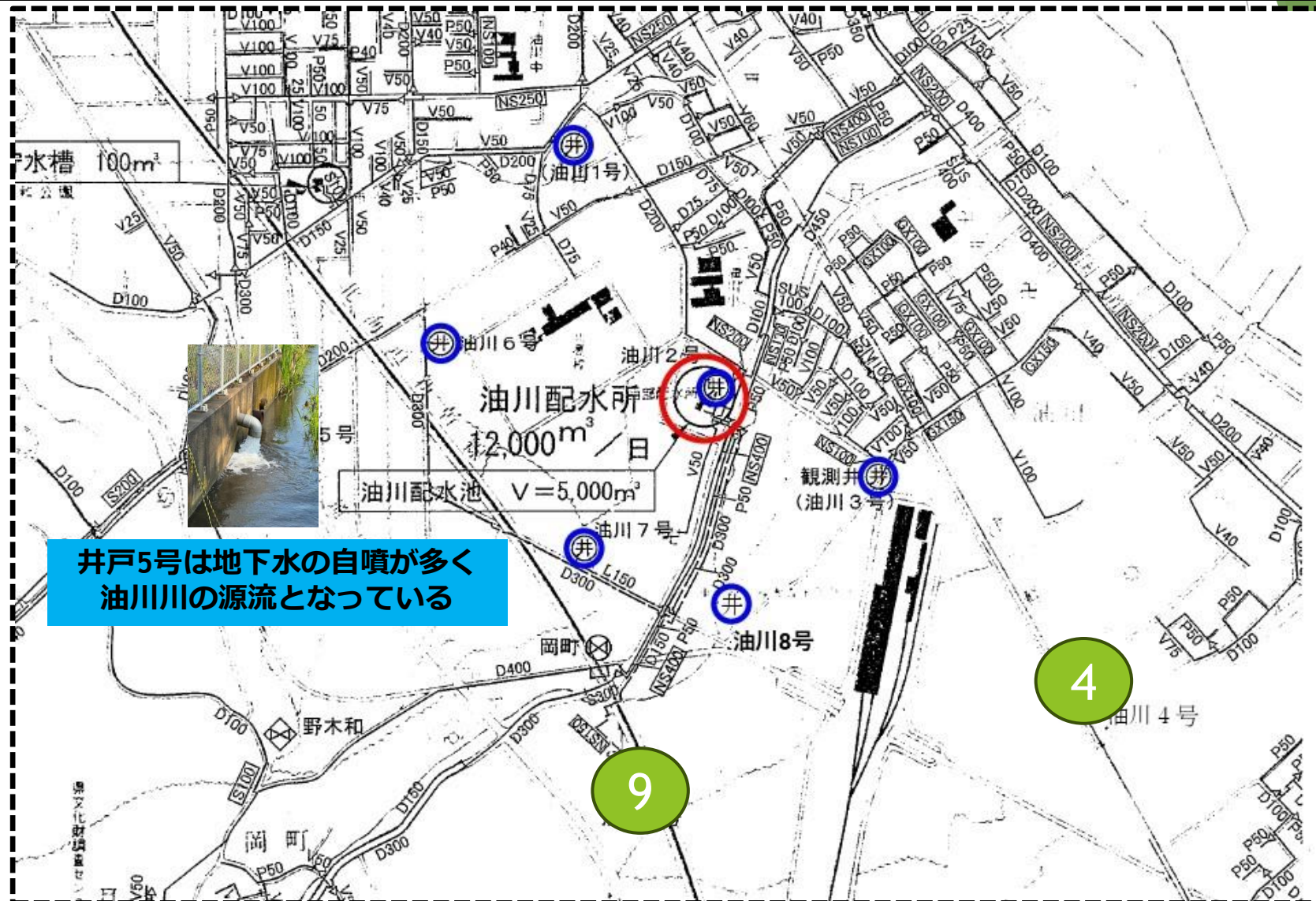
- 凡例
- 油川配水所
 - 取水井



令和7年度6月での状況と今後予定

- ・令和6年度 6号取水井埋め戻し工事【実施済】
- ・令和7～9年度 5、9、4号取水井埋め戻し工事
- ・令和10年度以降 配水池基礎杭撤去工事、着水棟、管理棟、外構等の解体工事

- ・令和6年度 6号取水井埋め戻し工事【実施済】
- ・令和7～9年度 5、**9**、**4**号取水井埋め戻し工事
- ・令和10年度以降 配水池基礎杭撤去工事、着水棟、管理棟、外構等の解体工事



現在の問題点と要望

当初の予定より旧油川配水所本体の解体が遅れることが分かった。今後も長期間、旧油川配水所の囲い（フェンス）はそのままの設置だと不快である。一旦取り外して見通しを良くしてほしい。旧油川配水所が解体する時設置することを希望する。

水道部では様々な方策やその費用などについて検討を進めているところです。



これから起こりうる問題点と要望



以前から井戸5号は地下水の自噴が多く年間を通して油川川の源流となっている。地域に住民に周知せず埋め戻し(自噴を止める)を行うと油川川の水が枯れた状態となり下流の住民に支障が起こることが考えられる。自噴場所や橋があるところに説明等案内板を設置、更に油川の住民にあらかじめ回覧板等利用して埋め戻し(自噴を止める)をする期日を告知することを希望する。

